

## 臨時閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成26年9月3日（水） 12：01～12：14

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

新藤義孝 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

谷垣禎一 国務大臣（法務大臣）

岸田文雄 国務大臣（外務大臣）

下村博文 国務大臣（文部科学大臣）

田村憲久 国務大臣（厚生労働大臣）

林 芳正 国務大臣（農林水産大臣）

茂木敏充 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

太田昭宏 国務大臣（国土交通大臣）

石原伸晃 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）

菅 義偉 国務大臣（内閣官房長官）

根本 匠 国務大臣（復興大臣）

古屋圭司 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

山本一太 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

森 まさこ 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

甘利 明 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

稲田朋美 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

陪席者：加藤勝信 内閣官房副長官

世耕弘成 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横 畠 裕介 内閣法制局長官

閣議案件：無し

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、臨時閣議を開催いたします。まず、内閣総理大臣から御発言がございました。

○安倍内閣総理大臣：内政・外交の諸懸案に加え、地方創生や安全保障法制の整備など新たな課題にも真正面から立ち向かい、「日本を取り戻す」戦いを更に加速するため、本日、内閣を改造することとしました。

皆さんとともに「危機突破内閣」を発足してから600日余り、メンバーも変わることなく、安定的に政策を前に進めることができました。全閣僚一丸となった改革努力によって、経済の再生、外交・安全保障の立て直しなど、国民の皆さんに目に見える形で結果を残すことができたと考えております。皆さんのこれまでのご尽力に対して、心から、感謝申し上げる次第です。

これまで懸命に改革に取り組んできた仲間として、引き続き、それぞれの立場で、国民の負託に応えるべく、安倍内閣の更なる挑戦に力強いご支援を頂ければ幸いです。本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

○菅国務大臣：それでは、お手元の辞表に署名をお願いいたします。署名された辞表は、そのままにしておいて下さい。

なお、お手元に「公文花押集」をお返ししておりますので、現在使用中の花押を御記入願います。

○菅国務大臣：これをもちまして、臨時閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

○谷垣国務大臣：総理とは1年8か月、大変充実した日々を送らせていただきました。また、その他の閣僚の皆様方にも心から感謝申し上げます。これからは党の仕事に携わることになりますが、総理を中心として、残られる閣僚の皆様も多くいらっしゃいますし、ますます国民のために御尽力いただきたいと思います。皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

○安倍総理大臣：あらためて閣僚の皆様には心から感謝申し上げます。一昨年の24年12月26日に第二次安倍政権が発足しましたが、国民には第一次政権の挫折のイメージがあったかと思います。それを、閣僚の皆様の個々の力、政策遂行能力、答弁能力によって不安を払しょくし、国民の関心、期待を集めることができたと思います。617日間にわたり、閣僚の交代がなかったことはこれまで最長であり、小渕内閣の在任日数616日を超えました。国会審議においてもしっかりと議論を戦わせ、政策を見事に前に進めていただきました。この期間、皆様とともに数々の困難な事態、難しい決断が迫られることがありました。時には、多くの国民の支持が得られない決断をしなければならぬ時もありましたが、歴史を作っていくのはそういう人たちだと思います。新しい歴史を作るにはこうした決断が必要です。617日間、皆様とともに決断してきたことは私の誇りであり、歴史に残るものであったと考えています。あらためまして、皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、皆様を支えていただいた家族の方々にも御礼申し上げます。ありがとうございます。

ざいました。

○菅国務大臣：他に御発言はございますか。

特に無いようなので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。